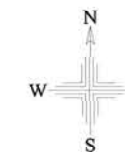


揺れやすさマップ



凡 例			
震度階級	強 ← 震度7 震度6強 震度6弱 → 弱		
	震度7	震度6強	震度6弱
人間	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。
屋内の状況	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

● 揺れやすさマップとは？

揺れやすさマップは、飛騨市に影響を及ぼす4つの活断層による地震と、全国どこにでも起こりうる直下の地震の震度をそれぞれ予測し、各地点の震度の最大値を示したものです。
したがって、市域が同時にこの震度となることはありません。

● 地震に対する備え

地震は、いつどこで起こるかわかりません。
日ごろからの備えや発生したときの対処によって、被害を抑えることは可能です。
家族や職場で防災について話し合い、災害への備えを充実しましょう。

- ◆ 日ごろからよく話し合いましょう。
- ◆ 家具の転倒や落下物でけがをしないよう防止策を考えましょう。
- ◆ ベランダや塀などの安全点検をしておきましょう。
- ◆ 火災に備え、消火器などを備えておきましょう。
- ◆ 非常持ち出し品を準備しておきましょう。

● 飛騨市周辺の主な活断層



○ 活断層で発生する地震

活断層で発生するM7.0以上の地震として、「国府断層帯」、「跡津川断層帯」、「牛首断層帯」及び「庄川断層帯」を震源とする4地震を想定しました。

想定地震(活断層)	マグニチュード(M)
高山・大原断層帯(国府断層帯)	7.2程度
跡津川断層帯	7.9程度
牛首断層帯	7.7程度
庄川断層帯	7.9程度

○ どこにでも起こりうる直下の地震

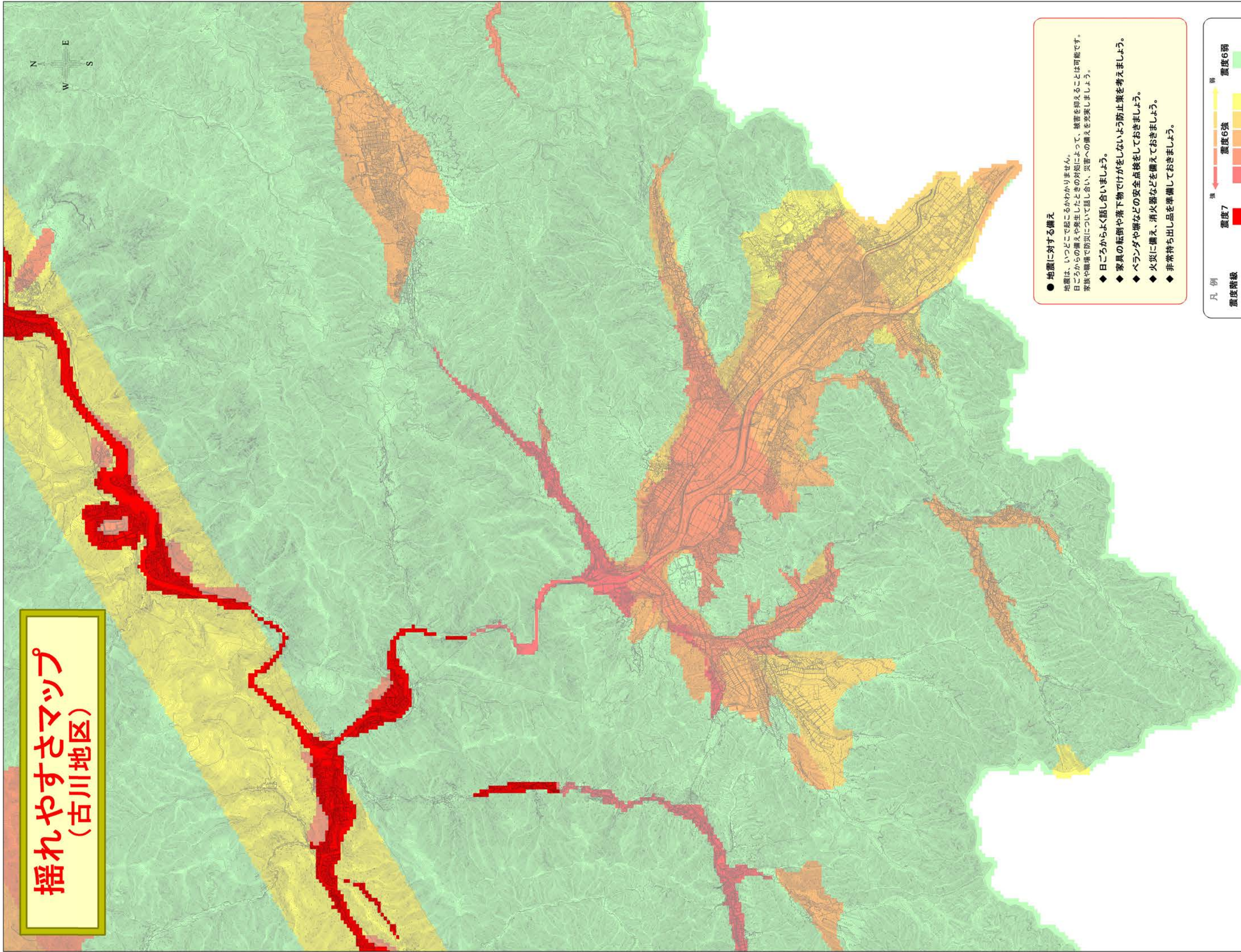
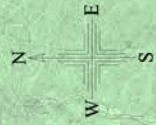
全国どこにでも起こりうる地震として、飛騨市の直下全域に未知の活断層があるとし、これを震源とするM6.9の地震を想定しました。

● 揺れの大きさ(震度)とマグニチュード(M)

地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すものが震度です。
一方マグニチュード(M)とは、地震の大きさ(規模)を表す指標です。マグニチュード(M)が0.2大きくなると地震の規模は約2倍、1.0大きくなると約3.2倍、2.0大きくなると地震の規模は約10.0倍になると考えられています。

2000 0 1000 2000 4000 6000m

揺れやすさマップ (古川地区)



● 地震に対する備え

地震は、いつどこで起こるかわかりません。日ごろからの備えや発生したときの対応によって、被害を抑えることは可能です。家族や職場で防災について話し合い、災害への備えを充実しましょう。

- ◆ 日ごろからよく話し合しましょう。
- ◆ 家具の転倒や落下物でけがをしないよう防止策を考えましょう。
- ◆ ペランダや塀などの安全点検をおきましょう。
- ◆ 火災に備え、消火器などを備えておきましょう。
- ◆ 非常持ち出し品を準備しておきましょう。

凡 例

震度階級



人間

揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。

屋内の状況

固定していない家具のほとんどが揺動したり倒れたりし、飛ぶこともある。

屋外の状況

壁のタイルや窓ガラスが破損し、落下する危険がある。屋根の瓦や窓ガラスが破損し、落下する危険がある。壁のタイルや窓ガラスが破損し、落下する危険がある。

揺れやすさマップ (河合地区)

凡 例		強 ← 弱	
震度階級		震度7	震度6強 震度6弱
人間	揺れに堪えられず、自分の意思で行動できない。	揺れに堪えられず、自分の意思で行動できない。	揺れに堪えられず、自分の意思で行動できない。
屋内の状況	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多い。揺れに堪えられず、倒れるものが多い。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多い。揺れに堪えられず、倒れるものが多い。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多い。揺れに堪えられず、倒れるものが多い。



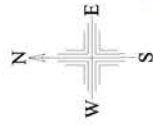
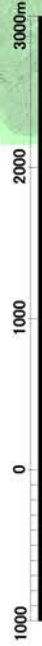
● 地震に対する備え

地震は、いつどこで起こるか分かりません。日ごろからの備えや発生したときの対応によって、被害を抑えることは可能です。家族や職場で防災について話し合い、災害への備えを充実しましょう。

- ◆ 日ごろからよく話し合いましょう。
- ◆ 家具の転倒や落下物だけがをしないよう防止策を考えましょう。
- ◆ ペランダや塀などの安全点検をしておきましょう。
- ◆ 火災に備え、消火器などを備えておきましょう。
- ◆ 非常持ち出し品を準備しておきましょう。

揺れやすさマップ (宮川地区)

凡 例	強	震度7	震度6強	震度6弱	弱
震度階級					
人間	揺れに堪えられず、自分の意思で行動できない。	揺れに堪えられず、行動できなくなる。	立つことができず、はわないと動けない。	立つことができる。	
屋内の状況	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。	
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下するものがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下するものがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下するものがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下するものがある。	



● 地震に対する備え

地震は、いつどこで起こるか分かりません。日ごろからの備えや発生したときの対応によって、被害を抑えることは可能です。家族や職場で防災について話し合い、災害への備えを充実しましょう。

- ◆ 日ごろからよく話し合いましょう。
- ◆ 家具の転倒や落下物だけをしなないよう防止策を考えましょう。
- ◆ ペランダや塀などの安全点検をおきましょう。
- ◆ 火災に備え、消火器などを備えておきましょう。
- ◆ 非常持ち出し品を準備しておきましょう。

揺れやすさマップ (神岡地区北部)

凡 例			
震度階級	震度7	震度6強	震度6弱
人間	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。
屋内の状況	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが倒れる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

1000 0 1000 2000 3000m

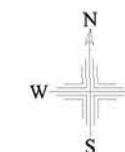


● 地震に対する備え

地震は、いつどこで起こるかわかりません。日ごろからの備えや発生したときの対処によって、被害を抑えることは可能です。家族や職場で防災について話し合い、災害への備えを充実しましょう。

- ◆ 日ごろからよく話し合しましょう。
- ◆ 家具の転倒や落下物でけがをしないよう防止策を考えましょう。
- ◆ ベランダや塀などの安全点検をしておきましょう。
- ◆ 火災に備え、消火器などを備えておきましょう。
- ◆ 非常持ち出し品を準備しておきましょう。

揺れやすさマップ (神岡地区南部)



1000 0 1000 2000 3000m

● 地震に対する備え

地震は、いつどこで起こるかわかりません。
日ごろからの備えや発生したときの対処によって、被害を抑えることは可能です。
家族や職場で防災について話し合い、災害への備えを充実しましょう。

- ◆ 日ごろからよく話し合いましょう。
- ◆ 家具の転倒や落下物でけがをしないよう防止策を考えましょう。
- ◆ ベランダや塀などの安全点検をしておきましょう。
- ◆ 火災に備え、消火器などを備えておきましょう。
- ◆ 非常持ち出し品を準備しておきましょう。

凡 例	震 度		
	震度7	震度6強	震度6弱
震度階級	震度7	震度6強	震度6弱
人間	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。
屋内の状況	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが倒れる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。